

安全未来特定認定再生医療等委員会

# 議事録要旨

第 201 回 6 部

〒213-0001 神奈川県川崎市高津区溝口 1-19-11 グラントール溝の口 502 号

一般社団法人 再生医療安全未来委員会

理事長 白井 由美子

# 安全未来特定認定再生医療等委員会議事録要旨

## 第201回 第6部

2023年5月2日

安全未来特定認定再生医療等委員会は、提出された再生医療計画について、その調査・審議・判定を行ったので、その議事録要旨を作成する。

### 【議題】

医療法人社団啓神会 M再生クリニック

定期報告 ①「慢性疼痛に対する自己脂肪由来幹細胞による治療」

②「変形性関節症に対する自己脂肪由来幹細胞を用いた治療」

### 第1 審議対象及び審議出席者

#### 1 日時場所

日時：2023年4月18日（火曜日）第6部 19:20～19:35

開催場所：東京都渋谷区渋谷 2-22-3 渋谷東口ビル

#### 2 出席者

出席者：内田委員（分子生物学等）、寺尾委員（再生医療）、辻委員（再生医療）、  
小笠原委員（細胞培養加工）、菅原委員（生命倫理）、中村委員（一般）

申請者：管理者 飯塚 啓介

陪席者：（事務局）坂口 雄治、白井 由美子

#### 3 技術専門員 ① 大岩 彩乃 先生

東京慈恵会医科大学 麻酔科学講座 講師

#### ② 寺尾 友宏 先生

#### 4 配付資料

資料受領日時 2023年3月28日

（本審査資料）

- ・再生医療等提供状況定期報告書（様式第三）
- ・年間 教育・研修記録文書
- ・定期報告フォーム

(事前配布資料)

- ・再生医療等提供状況定期報告書（様式第三）
- ・年間 教育・研修記録文書
- ・定期報告フォーム

(会議資料)

- ・再生医療等提供状況定期報告書（様式第三）
- ・年間 教育・研修記録文書
- ・定期報告フォーム

## 第2 審議進行の確認

### 1 開催基準の充足

再生医療等の安全性の確保等に関する法律施行規則（平成二十六年九月二十六日厚生労働省令第百十号）改正後第六十三条の規定する開催要件は次のとおり。

成立要件：

- 1 5名以上の委員が出席していること。
- 2 男性及び女性の委員がそれぞれ2名以上出席していること。
- 3 次に掲げる者がそれぞれ1名以上出席していること。
  - イ. 再生医療等について、十分な科学的知見及び医療上の識見を有する者
  - ロ. 細胞培養加工に関する識見を有する者
  - ハ. 医療又は医療分野における人権の尊重に関して理解のある法律に関する専門家、または生命倫理に関する識見を有する者
- 4 出席者の中に、審査等業務の対象となる再生医療等提供計画を提出した医療機関（当該医療機関と密接な関係を有する者を含む。）と利害関係を有しない委員が過半数含まれていること。
- 5 認定再生医療等委員会の設置者と利害関係を有しない委員が2名以上含まれていること。

事務局の坂口雄治が今回の審査の前に、開催基準に関して要件を読み上げ、全てにおいて条件を満たしていることを各委員に宣言した。

## 第3 審議

### 1 質疑

#### ①「慢性疼痛に対する自己脂肪由来幹細胞による治療」

菅原	10例12件です
大岩	評価方法がVASだけですので、評価項目について計画書どおりになっているか確認して、次回は計画書に沿って評価をお願いします。海外の医療機関との連携によるものだと思いますが、ドロップアウト症例が非常に多いので、

電話等の聞き取りで合併症の有無などを確認するなどして、フォローアップ体制の充実を図ってください

菅原 教育・研修は、専門学会への参加など院外についても実施していただきたい

②「変形性関節症に対する自己脂肪由来幹細胞を用いた治療」

菅原 1例3件で、3件とも経過観察中です

辻 VASを見ると、すべて悪化しています。このデータだと有害事象になってしまいます。そもそも、スタートが0なので、治療をする必要がないということになります。5か所ともすべて「右ひざVAS 0→40、左VAS 0→0」という記載になっているので、書き間違いなのではないでしょうか

菅原 データを確認してください

菅原 教育・研修は、専門学会への参加など院外についても実施していただきたい

## 2 判断

審査の結果、報告内容が再生医療等の安全性の確保等に関する法律に適合しており、当該再生医療提供計画の継続に問題はないと全員一致で認められた。ただし、①については、計画に沿った評価項目を実施すること、来院しない患者にもフォローアップ体制の充実を図ること、②については、データの記載に間違いがないか確認することを要請するものとする。また、①、②共、教育・研修は、専門学会への参加など院外についても実施することが望ましい。

## 第4 審議結果

定期報告は適切である。

以上

## 第5 補正資料の確認【変形性関節症の治療】

- 5月1日 : 医療機関よりメールにて補正資料提出
- 同日 : 事務局より菅原委員、寺尾委員へ補正資料をメールにて送信、内容確認を依頼
- 5月2日 : 両委員より資料が最終的に正しく補正されたことを確認したと事務局へメールにて返信